

サラリーマン川柳(年の暮 夢と知りつつ 夢を買う) (Mサイズ) 希望で言うな Lサイズ) (二次会へ お許しを乞う 恐妻家) (おもちゃ屋の チラシを隠す クリスマス)

れんごう中越地協

第843号2014.12.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



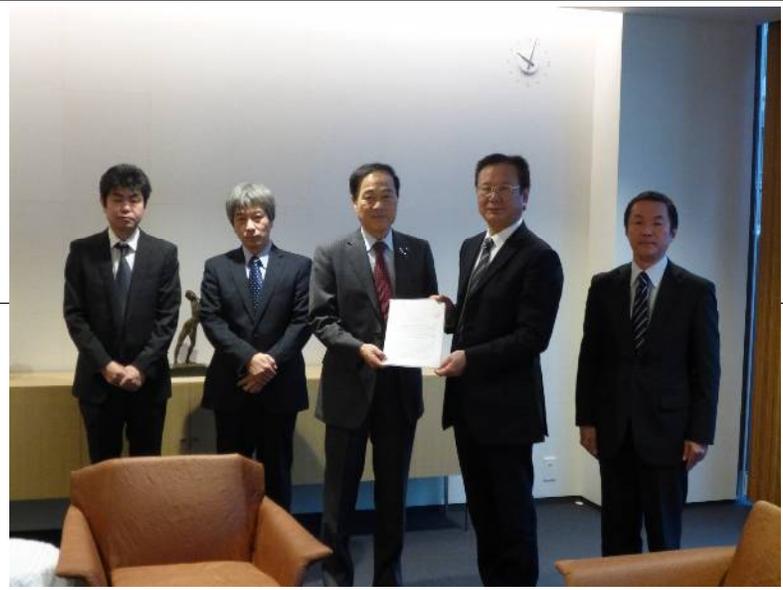
連合中越地協

次年度予算に関する要望書を長岡市に提出

政策福祉担当で取りまとめた要望事項8分野21項目

連合中越地協は、11月26日(水)午前10時に森民夫長岡市長を訪ね、15年度長岡市予算に関する「市政要望書」を矢島議長から森市長に提出し、横澤副議長(政策福祉担当)より今年度の要望事項を説明した。

長岡市を訪れたのは、事務局長の5名で、午後は、矢島議長のほか横澤副議長、羽賀副議長、小堀副議長と小林



度市政要望書の取り纏めにあった横澤副議長(政策福祉担当)が、8分野21項目の要望事項から次の点を強調した。

【総括・地方自治】連合は「働くことを軸とする安心社会の実現を目指しているが、引き続き連合中越との対話にとめられたい。アオーレ長岡内に非核平和都市宣言モニュメント等設置されたい。

【雇用労働政策】若者に対して働き甲斐のある良質な職場の創出に努められたい。

【経済産業政策】市内大学卒業生が市内企業に就職できるよう大学との連携を強化されたい。

【社会保障等】生活困窮者支援制度の実施に向け体制整備を行われたい。

【教育政策】貧困の連鎖を防止す

べく就学援助制度や経済的支援を含めた支援等を強化されたいこと等について強調した。森長岡市長からは、基本的に考えている方向と合致するが、別途回答したいとの見解が

無料 事前申込

公益財団法人新潟県女性財団地域セミナー
経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス
～企業と社員の利益のために～

時代は、少子高齢化社会。「親の介護をしながら働ける心配だ...」「子育てをしながらもっと働きたい...」男性からも女性からもそんな声が増えています。企業にとっても、働く側にとっても、メリットのある働き方について考えます。

日時 平成27年1月26日(月)
午後1時30分～3時40分(受付午後1時)

会場 アオーレ長岡 市民交流ホールA

1 基調講演
「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス
～企業と社員の利益のために～」
【講師】岩田喜美枝さん
(公益財団法人21世紀職業財団会長/株式会社西生堂顧問)

2 取組事例発表「長岡の企業と社員ののために」
・助言者 岩田喜美枝さん
株式会社ジェイマックスソフト
株式会社ホーミング
雇用均等関係法令・制度の説明
「次世代育成支援対策推進法の改正等について」
・説明者 新潟労働局雇用均等室職員

【略歴】1947年新潟県高松市生まれ。1971年東京大学数学科卒業。同年、労働省に入省。女性労働問題や国際労働問題を担当。03年退官。同年、株式会社西生堂に入社。取締役執行役員、取締役常務を経て08年代表取締役社長に就任。12年7月から転職を始める。また、公職として男女共同参画会議、中央教育審議会生涯学習分科会、内閣府消費者委員会、社会的活動としては、公益財団法人21世紀職業財団会長、NPO法人生涯ウィメン日本協会副理事長等を務める。

お問合せ 長岡市男女共同参画推進室 TEL (0258) 39-2746 FAX (0258) 39-2747
お申込み 電話、FAX、ホームページのいずれかでお願います。(申込書は裏面にございます。)

主催：(公財)新潟県女性財団、長岡市 共催：長岡商工会議所、(一社)長岡青年会議所、連合中越地域協議会

中越高齢協は11月26日(水)13時30分から高齢者センター「けさじろ」において「第19回中越高齢協セミナー」を50名の参加で開催した。

防災情報と介護予防がテーマ

「まちの実現をめざし防災体制強化に向け取り組んでいる。大きな柱として、地域防災計画の見直しをはかって

表明された。連合中越政策福祉担当では、後日の回答書を受領後に分析し、構成組織へも周知を行うこととしている。

いるが、市民の皆さんも天気予報、災害情報に十分注意するとともに、全市民が防災要員の気持ちで、地域で助け合えるよう日頃から準備と心がけが必要」と講演された。

休憩後「介護予防について」長岡市役所長寿はつらつ課看護師の久住愛氏からは、「健康寿命を延ばすため自分のことは自分でできるようにすること。そして、いつまでも元気に楽しく生活することが大切である。そのため自宅で行える介護予防法として①軽いトレーニングでの体力作り。②日ごろから頭を使う。③お口を元気に(食べる、しゃべる、笑う)。④心を元気に、この4点を心がけて生活することが重要」と話された。

参加者は熱心に聞いており、質問も出されたりなど有意義なセミナーとなりました。(中越高齢協 高橋事務局長)



第47回衆議院議員選挙自・公で325議席

連合中越 第1回四役会議 (新春対談)

日時 2015年1月6日(火)17:00～

場所 長岡市内

議題 年間計画、産別の課題 当面する日程等について

の候補者のうち、新潟3区で黒岩宇洋氏が議席を奪還することができた。しかし、他5選挙区は自民党が制する結果となった。

また、北陸信越ブロックの比例代表(定数11)は、民主党が3人当選し、県内の1区、2区、4区で敗れた西村智奈美氏、菊田真紀子氏、鷲尾英一郎氏の3人が比例復活で当選し議席を倍増した。明春の統一地方選挙につなげたい。5区森裕子氏(生活の党)と6区梅谷守氏(民主党)は及ばなかった。

今回の選挙は、小選挙区の投票率が52.66%(県内52.71%)と戦後最低を更新した。有権者の半数近くが投票しないというこの数字が示すものは、もはや政治不信という言葉だけでは済まされない。政権には、この結果も反省してほしいものだ。

